

# 令和4年度 学力向上プラン(案)

## 【学校教育目標の実現】

『心豊かで 自ら学ぶ 小江原っ子の育成』  
～自律し、尊重し合う子どもを育てる～

## 【学力向上の取組】

### 『育てたい力』『身に付けさせたい力』を 明確にした授業づくり

- ◎教科で学んだことを生活科・総合的な学習の時間に活用する。
- ◎探究的学習過程を踏み「めあて」と「まとめ」を確実に位置づける。
- ◎1単位時間のゴールを明確にした授業実践
- ◎児童の学力を高める板書の工夫
  - 「まず」「次に」「最後に」「だから」などの言葉を用いた説明活動の充実
  - 発表や反応の仕方など話形を示した共通理解・実践
  - 自分の考えや学んだこと等書く活動を位置づける。

### 家庭学習・学習規律の定着

- ◎家庭学習への自主的、自律的な取り組みを身に付けさせるための児童・教師・保護者の共通理解・実践方法の啓蒙(家庭学習の手引きの配布)
- ◎漢字の習得・計算力の向上(平均90点をを目指す。)
- スキルタイムを活用した基礎学力の定着
- 「家庭学習リーフレット」保護者への啓発(隔年更新)
- 国・県・市学力調査の結果活用

### 読書指導の充実

- 国語科における並行読書
- 週2回の朝読書実施
- 学期1回の教職員による読み語りの実施
- 図書ボランティアによる昼休みの読み語りの実施

### 【本校の児童の実態】

- 与えられた課題にしっかり取り組む児童が多い。
- 興味があることへの学習意欲が高い。
- これまでの研究により「まず」「次に」「最後に」「だから」などの言葉を用いた説明活動が定着しつつある。
  - ▲人の話を最後まで聞くことができない児童が多い。
  - ▲算数の文章問題が苦手。
  - ▲思考力・表現力が十分でない。

### 【学力調査の結果から】

- 令和4年度5年生は国語・算数共に平均を上回っていた。
  - ◇「基礎的な知識・技能の定着」「考える力の向上」  
全ての教科において書く活動が必要
  - ▼令和4年度は、3年生は国語・算数ともに平均より少し下回っていた。4年生の国語は平均を下回っていたが、算数は平均を上回っていた。6年生は国語・算数・理科の3教科すべて全国平均より下回っていた。
  - ▲領域別では、国語の「読むこと」「書くこと」算数の「考え方」に課題がある。